



北上市立図書館 基本的運営方針

(令和8年度～令和12年度)

～市民の「し・り・た・い」に答える図書館～

令和8年3月

北上市教育委員会

目次

1	方針の策定にあたって	2
1-1	趣旨	2
1-2	運営方針の位置付け	2
1-3	目標年度と計画期間	2
1-4	関連他計画	2
2	これまでの取り組み	4
2-1	親しみやすい図書館	4
2-2	利用しやすい図書館	6
2-3	頼りになる図書館	7
2-4	憩いの図書館	8
3	北上市立図書館をとりまく現状	9
3-1	社会の変化	9
3-2	北上市立図書館の現状と課題	9
3-2-1	施設概要	9
3-2-2	利用実績の推移	10
3-2-3	数値目標達成状況	12
3-2-4	市民ニーズの状況	13
3-3	北上市立図書館の課題	14
3-3-1	新規登録者の掘り起こし	14
3-3-2	子どもを取り巻く読書環境への対応	14
3-3-3	多様な利用者に対応する図書館づくり	14
4	北上市立図書館のあるべき姿	15
4-1	基本理念	15
4-2	基本方針	15
4-2-1	親しみやすい図書館	16
4-2-2	利用しやすい図書館	18
4-2-3	頼りになる図書館	19
4-2-4	憩いの図書館	21
5	進捗状況の点検・評価	23
5-1	方法	23
5-2	数値目標	23
6	資料	24
6-1	利用者アンケート質問票	24

1 方針の策定にあたって

1-1 趣旨

北上市立図書館では、平成28年度から北上市立図書館基本的運営方針（以下「運営方針」）を策定し、図書館が目指すあるべき姿として掲げた基本理念の実現に取り組んできました。

令和3年度に策定した運営方針の目標年次（令和7年度）に当たる今年、これまでの事業実績や達成度、利用者満足度を評価し、社会環境の大きな変化等を踏まえて、新たな運営方針を策定します。

1-2 運営方針の位置付け

運営方針は「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日 文部科学省告示第172号）」（以下「運営基準」）において市町村立図書館の管理運営について、社会の変化や地域の実情に応じ、事業実施の基本的な運営の方針を策定するとともに、数値目標及び年度ごとの事業計画を策定し、その達成状況を自ら点検評価するように努めることと規定されており、この運営基準に定められた基本的運営方針として策定します。

運営方針は、北上市総合計画における基本目標「ひと」に関わる教育施策に沿い、その具体的な内容を示すと共に、北上市教育大綱の理念を実現しようとする北上市教育振興基本計画を上位計画とした個別計画の一つです。

1-3 目標年度と計画期間

- (1) 目標年度 令和12年度（2030年度）
- (2) 計画期間 令和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）

1-4 関連他計画

- (1) 「北上市総合計画 2021～2030」

多様な社会教育への対応、市民の郷土意識向上の取り組みとして、図書館の幅広い年代の利活用を図るため、豊富な資料の収蔵や保存に努め、市民の生涯学習のサポートをしていくことが必要である。

- (2) 「北上市教育大綱 令和5年度～令和8年度」

基本方針の一つとして、人生を豊かにする生涯学習を推進する。

市民のライフステージやニーズに合った多様で質の高い学習機会を提供し、すべての市民が生涯を通じて学び続け、学んだことを活かせるよう生涯学習活動を促進し、読書活動の充実を図る。

(3) 「北上市教育振興基本計画 2021－2030」

幅広い世代のニーズに対応するため、生涯にわたり本が身近な存在となる環境を整えると共に、深い知識をもった専門職員の育成を図る。

また図書館と学校とが連携した読書推進活動を進める。

(4) 「北上市子どもの生きる力をはぐくむ計画（第3次北上市地域教育力向上推進計画）令和8年度～令和12年度」

地域の人材・施設・自然環境・地域行事等を生かしながら地域社会全体で子どもたちの生きる力をはぐくむ。「北上市子どもの読書推進計画」を包含し計画の基本施策の柱の一つとして策定し、子どもの読書活動を推進する。

2 これまでの取り組み

市立図書館が目指す、あるべき姿を「市民の学びに寄り添い『知る自由』を保障する知と情報の拠点」とし、4つの基本方針を定め、取り組んできました。

「親しみやすい図書館」「利用しやすい図書館」「頼りになる図書館」「憩いの図書館」の4つの基本方針に沿ったこれまでの取り組みは、次のとおりです。

(■ 新規取り組み事業)

2-1 親しみやすい図書館

基本方針1 親しみやすい図書館（最重点分野）

乳幼児から青年期以降まで切れ目なく生涯の各段階に応じた読書環境整備の推進を行いました。特に、一生涯の読書習慣の基盤となる乳幼児の読書環境の整備に重点を置いて、新規事業や既存事業の拡充に取り組みました。

①乳幼児の読書環境の整備	おはなし会 ボランティア団体による定例のおはなし会を開催	月2回
	「名作えほんコーナー」の新設（中央図書館）	令和4年度
	ブックスタート 4か月児健診時に絵本と読み聞かせ体験をセットで提供	月3回
	北上市保健・子育て支援複合施設hoKkoとの連携 ・ともしび号の乗り入れ開始（令和3年度） ・健診室絵本コーナーの新設（令和3年度）	年間
	絵本ふれあいボランティア 親が本を選んでいる間、子どもに本や紙芝等の読み聞かせを行う。	月1回程度
	ともしび号による幼稚園・保育園等への団体貸出	年間
	和賀図書館ちびっこタイム 親子が気がねなく来館できるよう、乳幼児が声を出して親と会話できる時間帯を設定	週2回
	幼稚園・保育園対象の貸切利用（R7実績15団体） 休館日に貸切を行い、幼児の図書館や本に親しむ環境を生み出す。	9～10月
	手づくり紙芝居展 ボランティア団体「ぼっぼの会」が制作した手づくり紙芝居の展示と、貸出用の複製を作成し貸出	令和4年度
	中央図書館30周年記念「ねずみくんの絵本シリーズぜんぶよめる展」 シリーズ全39冊を一堂展示。あわせて、平成4年に作者が北上市で講演した様子を紹介	令和5年度

	かがくいひろし絵本ぜんぶよめる展 絵本作家「かがくいひろし」の著書全16冊を展示。読んだ本を自分でチェックできるコンプリートカード配布	令和6年度
	子どもスペシャルデー にんぎょう劇（ゆめのたね）、子ども映画会、中央図書館の「ポケモンをさがせ!」、ポケモンの本よんでみよう展、ともしび号特別貸出	令和6年度
② 児童（小学生）の読書環境の整備	ともしび号による小学校・学童保育所等への団体貸出	年間
	体験!「一日図書館司書」 小学生を対象に図書館業務を体験し、図書館の役割や利用方法など理解を深める。	夏休み 冬休み
	読書通帳 通帳型冊子に、読書記録を積み立て、読書を楽しむ動機付けとする。	年間
	施設見学 図書館のバックヤードを見学し、役割や利用法を学ぶ。	年間
	職場体験、インターンシップ受け入れ 中・高校生、大学生を対象とした、図書館の仕事体験学習	年間
③ 生徒（中・高校生）の読書環境の整備	ティーンズコーナー（中高生向けコーナー）の充実	年間
	進学・就職応援コーナーの新設（中央図書館）	令和4年度
	来館スタンプラリー開始（令和3年度） 1回来館するごとにスタンプを押し、10個で景品をプレゼントすることにより継続利用を促す。	年間
④ 青年期及び全世代を対象とした読書環境の整備	ともしびデー 中央図書館正面玄関前でともしび号の、貸出及び試乗体験	年2回程度
	手づくり絵本教室 世界に1つだけのオリジナルストーリー絵本を作成する講座	令和3、5、7年度
	貸出☆本の福袋 本の入った福袋の貸出（全館）を行い、意外な本との出会いを提供する。	年1回
	テーマ展（中央図書館、和賀図書館） スポーツ、クリスマス、料理等、旬の話題や季節のテーマを設け、本の展示と貸出を行う。	年間

④青年期及び全世代を対象とした読書環境の整備	子育て支援講座（岩手県立大学・櫻幸恵教授との協働研究） 絵本を活用した、子育て支援講座を開催。「未就学児の親子を対象とする教育福祉の複合的読書支援プログラム」実践報告冊子を作成	令和3、4年度
	読書ボランティアスキルアップ研修会・講座	令和3、4年度
	中央図書館30周年記念「図書館まつり」 おはなし会、工作（魚つり）、映画会、脳年齢等測定会、ともしび号特別貸出、脳活コーナー、図書館年表展示等により、図書館の歴史を振り返るとともに、PRを行った。	令和5年度

2-2 利用しやすい図書館

基本方針2 利用しやすい図書館		
利用者のニーズを的確に把握し、すべての市民にとって「利用しやすい図書館」を目指し、図書館の基本的機能（資料の収集、整理、保存、提供）の充実に努めました。		
①資料の充実・整理・提供方法の見直し	書架整理ボランティア 閲覧室の書架整理、破損図書の修理等	月1回
	雑誌スポンサー制度 スポンサーによって雑誌を購入し、スポンサー5年を経過した企業へは感謝状を贈呈。令和3年度6社。令和6年度3社。	年間
	図書、映像資料、雑誌（寄贈含）、地域資料のデータ入力と装備	年間
	ICシステム導入による窓口業務、蔵書管理の効率化	年間
	ICシステムによる蔵書点検	年1回
②積極的な情報提供（広報）	ホームページのSSL化（暗号化での送受信）によるセキュリティ強化	年間
	北上ケーブルテレビ番組「Go!Go!図書館」 毎月第3火曜日	毎月
	広報きたかみ「わくわく図書館」 毎月第4金曜日発行	毎月
	コミュニティーFM 新刊本の紹介	月1回
	新刊案内の発行（自動車文庫、江釣子図書館、和賀図書館）	月1回
③図書館サービス網の充実	新ともしび号お披露目式 新車両のお披露目とデザインした岩手大学生へ感謝状を授与	令和3年度
	自動車文庫ともしび号の巡回、サービスポイントの増設	年間

④障がい者サービスの充実	自宅配送サービス 図書館に来館できない障がい者等を対象とした、資料の自宅配送	年間
	大活字本・LLブックの購入	年間
⑤視聴覚ライブラリーの推進	機材・教材の貸出（プロジェクター・DVD等）	年間
	機材・教材の購入と整備（上映権付DVDの購入）	年間

2-3 頼りになる図書館

基本方針3 頼りになる図書館

職員の技術向上、Wi-Fiやパソコンなど情報ツールの提供、地域資料の活用に努めました。

①職員のレファレンス技術向上	職員の研修参加と情報共有	年間
	図書館システム操作研修	年数回
②情報提供能力の強化	参考資料の整備と更新（事典・白書・報告書・統計・年鑑）	年間
	公衆無線LAN（Free Wi-Fi）の提供サービス	年間
	ホームページによるパスファインダー*の公開 *特定のテーマについて、参考となる資料や情報を探するための手段を簡単にまとめたもの	年間
	利用者用インターネットパソコンの提供	年間
③レファレンス機能の周知	ホームページによるレファレンス事例の公開	年間
④地域資料の活用促進	図書館収蔵資料展の開催による、地域への興味の醸成	年数回
	古文書の解説 古文書の表題付け、目録作成、修理、整理	年間
	市史編さん事業支援 市史編さん委員への資料調査対応、情報提供	年間
	絵図面（江戸から昭和期の古絵図等）の裏打ち、補修、保存	年間

2-4 憩いの図書館

基本方針4 憩いの図書館

市民が共に楽しく学び、本と人、人と人がつながる「憩いの場」として気軽に利用できる「居心地のよい空間」づくりと図書館という枠にとらわれない「多彩な事業」の開催に努めました。

①快適な読書空間の確保	中央図書館換気設備更新事業	令和6年度
	貸出冊数と貸出期間の変更 臨時措置から規則改正 5冊2週間から10冊4週間へ	令和5年度
	「利用者の声」投稿箱を1階にも増設（中央図書館）	令和7年度
	学習スペース（視聴覚室等）常時開放（中央図書館）	年間
	食事スペース（ソファ）設置（中央図書館）	令和7年度
②本をテーマにしたコミュニティの醸成支援	わたしの推し本（本の伝言板） 利用者同士によるお薦め本の紹介と本の展示。令和5年度からWEB投稿システム開始	年間
	読書推進に資する団体への会議室等貸出	年間
③多彩な空間の提供	北上市との連携事業 市の事業と関連した図書の展示、貸出（心の健康、環境週間等） 令和3年度にはトリプルアニバーサリー（展勝地100周年記念、芸能まつり60周年、市制施行30周年）関連展示、階段アート設置を行った。	年間

3 北上市立図書館をとりまく現状

3-1 社会の変化

(1) 人口減少と少子高齢化

本市においても総人口は緩やかに減少しており、年齢区分別では、年少人口の減少と老年人口の増加が続いています。

平均寿命や健康年齢の延伸に伴い、定年の引き上げによる多様な働き方、仕事と生活のバランスを重視するワークライフバランスの一般化により、時間の使い方も変化してきました。

自分の時間を大切に考える考え方が広まり生涯学習は、より重要なものになっています。

(2) 情報化社会の進展

スマートフォン、タブレット等デジタル機器の利用が急激に浸透し、情報通信技術はますます進展していくものと考えられます。

図書館においても、デジタルアーカイブなど電子資料の導入や、ICTを進めた図書館システムの構築が求められています。

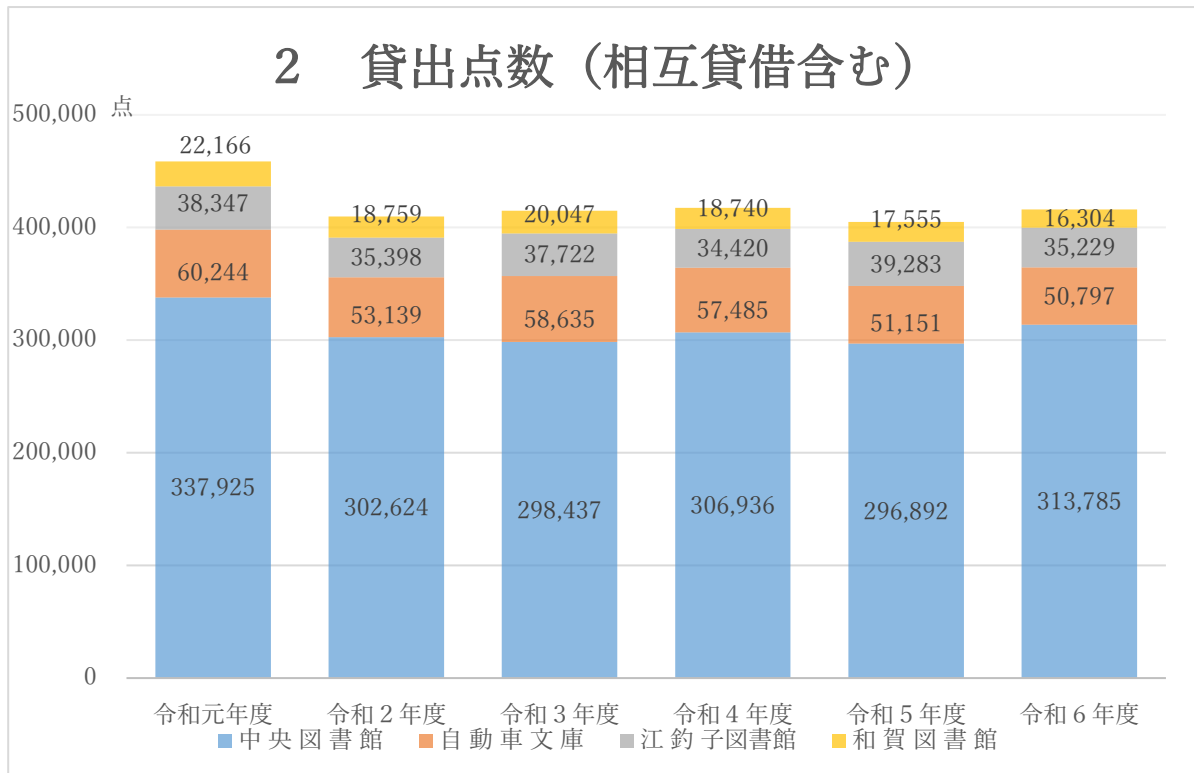
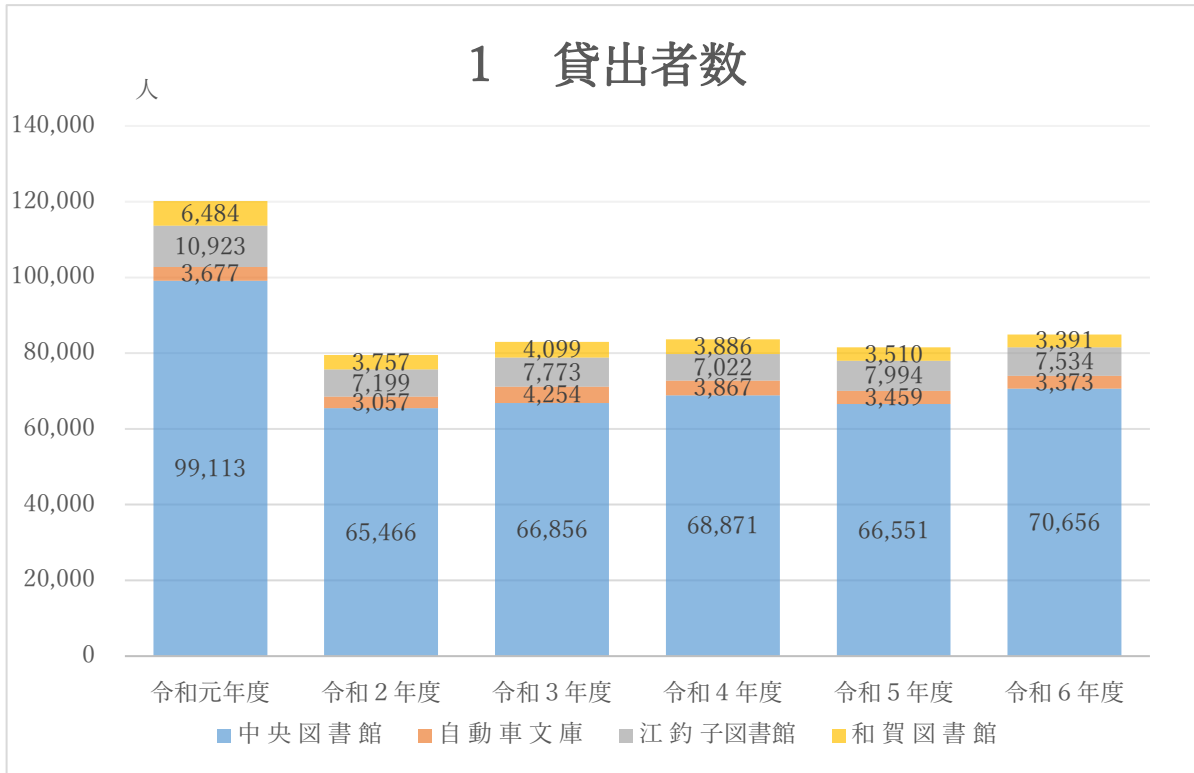
3-2 北上市立図書館の現状

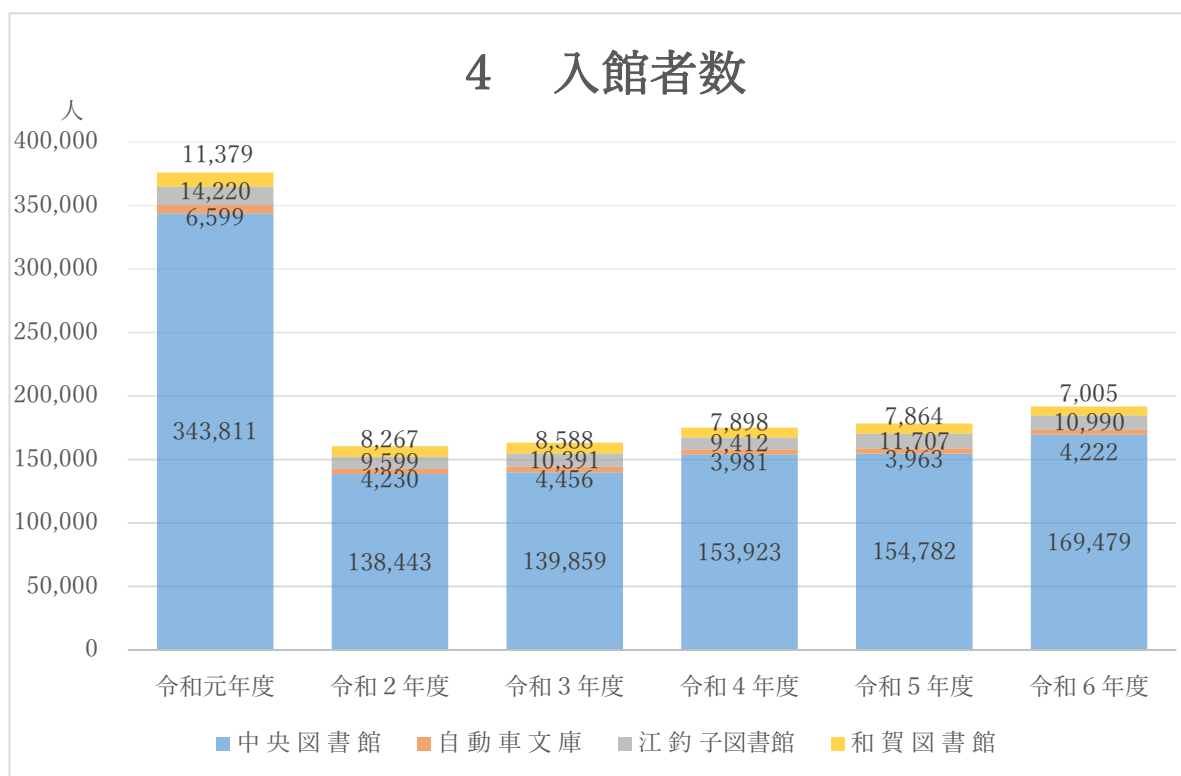
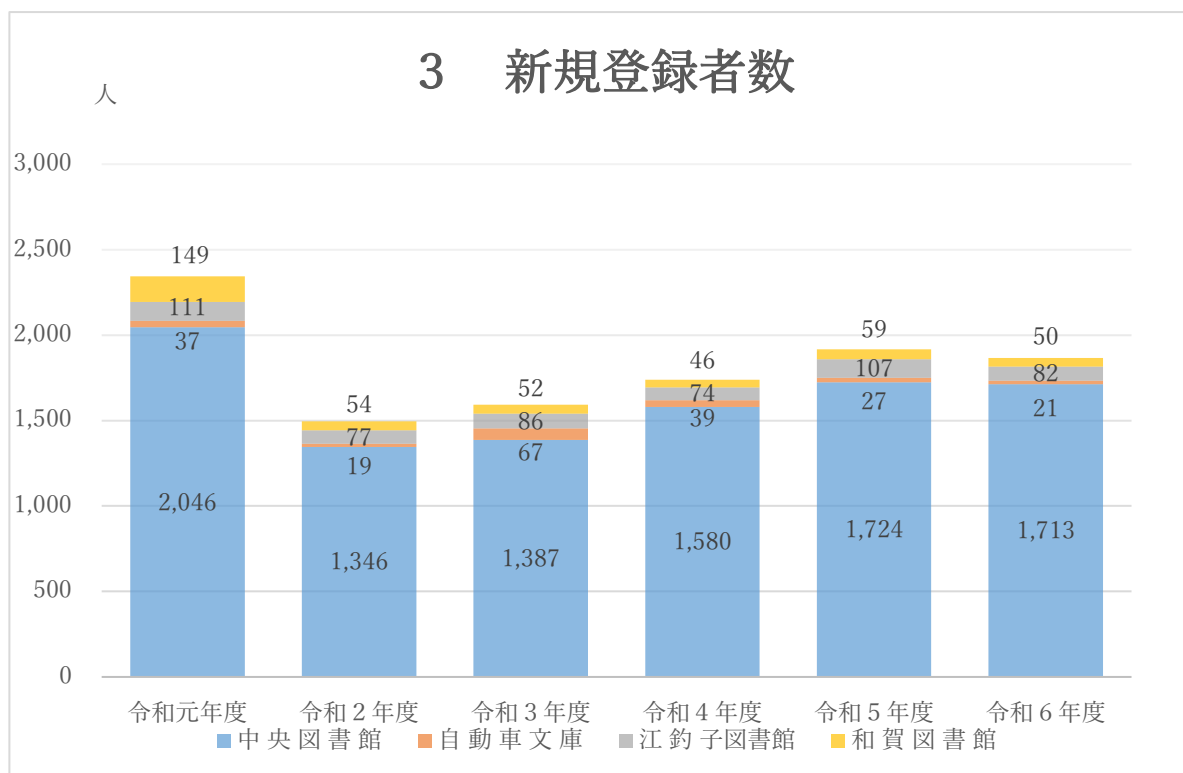
3-2-1 施設概要

現在北上市立図書館は、中央図書館、和賀図書館及び江釣子図書館の3館で構成されています。このほか自動車文庫ともしび号を運行しています。

施設名	所在地	建設年度	建物延床面積 (㎡)	令和6年度末資料 点数(点)
中央図書館	本石町二丁目5番35号	平成5年度	2,651.16	197,708
江釣子図書館	上江釣子17地割116番地 江釣子地区交流センター2階	昭和56年度	132.01	21,650
和賀図書館	和賀町横川目11地割160番地 和賀庁舎2階	移転 平成31年度	359.14	14,046
自動車文庫 ともしび号		更新 令和3年度		48,352
			計	281,756

3-2-2 利用実績の推移





令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、約2週間の臨時休館を実施したほか、来館回数を減らすため、ともしび号の運休や、開館時間の短縮、貸し出し冊数と期間の拡大（5冊2週間→10冊4週間）を実施しました。令和元年度と比較し、入館者数は半減しましたが、貸出冊数は90%ほどを維持しました。

コロナ禍の影響で落ち込んだ入館者数、新規登録者数は徐々に回復してきています。各館の傾向では、中央館の利用は増加しています。江釣子分館及びびともしび号は年度によって増減がありますが、和賀分館の利用は減少傾向にあります。

3-2-3 数値目標達成状況

指 標	令和3年度	令和6年度	目標値 令和7年度	達成率
1 個人登録率	21.9%	19.4%	26.5%	77.1%
2 個人登録者数	20,216人	17,642人	25,000人	74.8%
3 年 間 貸出点数	414,841点	416,115点	486,000点	85.1%
4 人口一人当り貸出点数	4.50点/人	4.58点/人	5.15点/人	87.7%
5 入館者数	163,294人	191,696人	383,000人	46.1%
参考：「データでみる北上市の現状と未来予測」北上市人口ビジョン	92,181人	90,852人	94,298人	

コロナ禍で数値が落ち込み、以降は年々回復していますが、目標値は達成できていません。

3-2-4 市民ニーズの状況

令和7年7月～8月に利用者アンケートを実施しました（回答数66人）。

アンケートにおいて現在図書館を利用していると回答した人のうち、図書館全般についての満足度は73.7%でした。

■図書館運営について■

図書館の施設・設備	74.6%が満足またはやや満足
検索システムの使いやすさ	63.4%が満足またはやや満足
イベント（おはなし会など）	77.7%が満足またはやや満足
職員の対応	79.3%が満足またはやや満足

「検索システムの使いやすさ」は他の項目と比較して満足度が低く、より見やすく分かりやすい検索環境へ改善すべきであることが分かりました。

■資料について■

図書全般の充実	61.9%が満足またはやや満足
こどもの本の充実	73.0%が満足またはやや満足
地域資料	73.0%が満足またはやや満足

こどもの本や地域資料に対する満足度が高い一方で、図書全般の充実に対する満足度が低く、多彩なジャンルの本の充実が求められていることが分かりました。

■図書館の利用目的■

調べもののため	1人	CDやDVDを視聴するため	0人
本を借りるため	54人	おはなし会などのイベントに参加するため	0人
本・雑誌・新聞を読むため	3人	子どもなど家族の付き添い	3人
勉強や仕事をするため	1人	静かな時間を過ごすため	1人

利用目的は様々あるものの、本を借りるために来館する利用者が圧倒的に多いことが分かりました。

■図書館を利用して■

面白い本が見つかった	68%がよくまたは時々感じる
探していた情報や知識が得られた	63%がよくまたは時々感じる
仕事や資格取得の役に立った	34%がよくまたは時々感じる
本の探し方や、知識・情報の調べ方がわかった	38%がよくまたは時々感じる
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	61%がよくまたは時々感じる

利用者が面白いと感じる幅広い資料の充実や、落ち着いて読書や調べものができることが、図書館に求められていることが分かりました。

3-3 北上市立図書館の課題

3-3-1 新規登録者の掘り起こし

過去5年間の新規登録者数は、横ばい状態を維持しています。現在図書館を利用していない潜在的な利用者に利用を促すため、生涯に渡って市民の学びに寄り添う図書館の機能やサービスを、広く市民に知ってもらうことが課題です。

3-3-2 子どもを取り巻く読書環境への対応

スマートフォンやゲーム機、タブレット端末、SNSなどの情報通信手段が急激に普及し、子どもたちの生活環境が変化しています。

また、現行の学習指導要領では、デジタル教科書や、子どもたちに一人1台配備されている端末の活用など、学習を支える手段としてICTの活用が位置付けられています。

こうした変化に対応するため、図書館として従来の紙媒体だけではなく、デジタルデータでの資料提供や、デジタルデータにアクセスできる環境の整備について考えていかなければなりません。ニーズを的確に把握し、利用者にとって最適な仕組みを提供する必要があります。

3-3-3 多様な利用者に対応する図書館づくり

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）を踏まえ、高齢者や障がいのある人でも使いやすいよう工夫された資料（LLブックや大活字本等）の充実が求められています。

また、外国語でのコミュニケーションを主とする人や、外国語を勉強したい人へのサービスとして日本語以外の言語で書かれた本の整備も必要とされています。

誰もが利用しやすい図書館を目指し、資料の充実と周知を進めることが課題です。

4 北上市立図書館のあるべき姿

4-1 基本理念

目標年次（令和12年度）を見据え、北上市立図書館が目指すあるべき姿を基本理念として次のとおり掲げます。

市民の学びに寄り添い「知る自由」を保障する知と情報の拠点

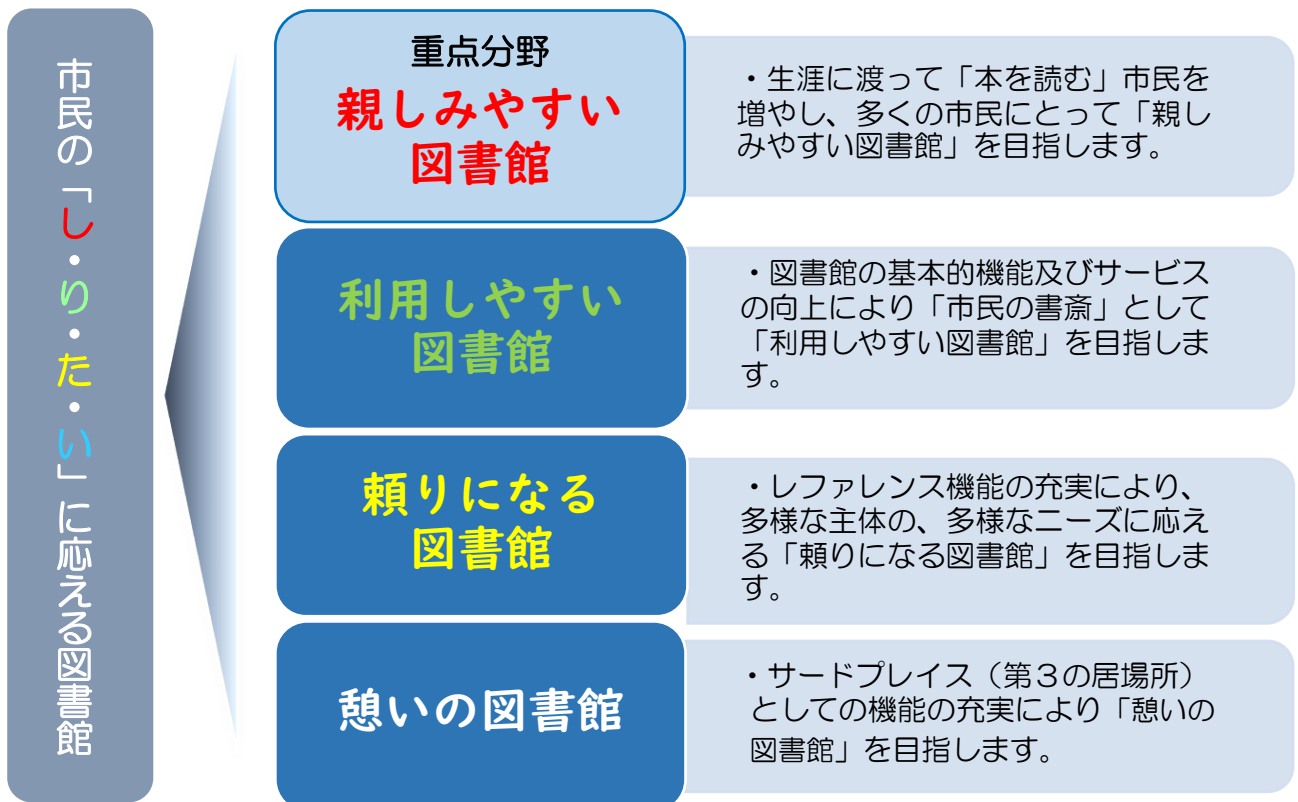
北上市立図書館は、読書活動の推進により生涯を通じて市民の学びに寄り添うとともに、情報提供とその利活用を支援することにより市民の「知る自由」を保障し、市民の福祉と地域の発展を支える知と情報の拠点となることを目指します。

4-2 基本方針

基本理念を実現するための取り組みの指針として、「親しみやすい図書館」、「利用しやすい図書館」、「頼りになる図書館」、「憩いの図書館」の4つの柱を基本方針として掲げます。

これまで重点分野として取り組んできた「親しみやすい図書館」を引き続き推進することとします。

これらの4つの基本方針に沿ったサービスを展開することにより、市民の様々な「しりたい」に応える図書館となることを目指します。



4-2-1 親しみやすい図書館

読書は、人間の精神的な成長や知的好奇心を向上させるとともに、生活や仕事など様々な場面での生産性を向上する素地を作ります。また、楽しみとしての読書は、人生に豊かさをもたらします。

生涯に渡って読書習慣が身近なものになるよう、生涯の各段階の読書に寄り添う「親しみやすい図書館」を目指します。

このため、乳幼児から青年期以降まで切れ目なく読書を推進する環境を整備するため、対象者別サービスの充実をはかります。

特に、一生涯の読書習慣の基盤となる乳幼児の読書環境の整備を重点取り組みとして実施し、学齢以降への読書の習慣化へつなげていくこととします。

◆重点項目 生涯の各段階に応じた読書環境整備の推進

①乳幼児の読書環境の整備【重点取り組み】

一生涯の読書習慣を決定づけるこの段階の読書は、保護者の読書への理解に影響されることから、保護者に対する読書の重要性の理解を促進するとともに、子どもと保護者がともに本に親しむ機会をつくります。また、自動車文庫ともしび号が幼稚園・保育園へ巡回することで、子どもたちが自然に本と触れ合い、読書を楽しめる環境づくりを進めます。

- ・ブックスタート事業
- ・北上市保健・子育て支援複合施設ほくほく内の図書支援及び関係機関との連携
- ・赤ちゃん向けえほんコーナーの充実
- ・出前講座、おはなし会
- ・自動車文庫ともしび号の巡回
- ・和賀図書館ちびっこタイム
- ・絵本ふれあいボランティア
- ・幼稚園、保育園を対象に休館日を活用した貸切利用サービス
- ・ボランティアの養成と支援

② 児童（小学生）の読書環境の整備

乳幼児期から引き続き保護者への理解促進をはかるとともに、学校との協力・連携を強化することにより、子どもたちがより多くの資料と出合う機会を提供します。

学校からの依頼に応じて、学習活動のテーマに沿った図書資料の貸出など学校との連携を深めます。

また、自動車文庫ともしび号が小学校へ巡回することで、子どもたちが自然に本と触れ合い、読書を楽しめる環境づくりを進めます。

選書やコーナーづくりに子どもの意見を積極的に取り入れます。

- ・テーマ別資料貸出
- ・学校支援図書の実施と利用促進
- ・自動車文庫ともしび号の巡回
- ・読書通帳の配布
- ・施設見学の実施
- ・体験！「一日図書館司書」の実施
- ・イベント等でのアンケート実施

③ 生徒（中学・高校生）の読書環境の整備

行動範囲や興味の幅も広くなり、図書館との関わりが一番薄いと言われるこの段階では読書の嗜好が分化し、求められる資料のジャンルも多様化してきます。

中高生のニーズを把握し、資料の確保と情報提供並びに読書活動に関わる場を提供します。

- ・学習スペースの確保
- ・ティーンズコーナー（中学校・高校生向け図書）の充実
- ・進学・就職応援コーナーの充実
- ・職場体験受け入れ

④ 青年期及び全世代を対象とした読書環境の整備

日常生活や産業経済活動など、多種多様な情報が求められることから、ニーズに応える資料を確保するとともに、読書に親しむための機会の提供をおこないます。

- ・各種講座
- ・ともしびデーの実施
- ・県立図書館巡回展の実施
- ・本の福袋の実施
- ・除籍資料のリユース
- ・テーマ展の実施
- ・外国語に親しめる資料の展示やイベントの実施

4-2-2 利用しやすい図書館

多くの市民が図書館を有効に活用するためには、図書館が誰でも利用できる「市民の書齋」として身近な存在であることが必要です。

登録者数は減少しながらも入館者数は増加し、貸出者数、貸出冊数は現状を維持していることから、これまでのサービスを維持しながら、図書館を利用していない市民に対して利用につなげていく取り組みが必要です。市民の情報へのニーズに配慮し、すべての市民にとって「利用しやすい図書館」を目指します。

そのため図書館の基本的機能（資料の収集、整理、保存、提供）を充実させていくとともに、資料や利用方法についての広報を積極的に行い、図書館が市民にとって身近な情報拠点施設であると認識されるよう努めます。

また、市民の身近に本がある環境の整備をめざし、自動車文庫ともしび号の市内全域巡回サービスにより、図書館サービス網の充実をはかるとともに、全ての人が知る自由を享受できるよう、障がい者サービスの充実をはかります。

◇ 図書館の基本的機能の充実

① 資料の充実・整理・提供方法の見直し

市民が必要とする情報を提供できるよう、全項目が網羅・体系化されている百科事典のような幅広い資料群の整備を目指します。また、利用者のニーズを的確に把握し、必要な資料の確保に努めるとともに、整理・提供方法を見直していきます。

また、外国語を使う人や外国語を勉強したい人などに対応するため、多言語資料の充実をはかります。

（★新規事業）

- ・ I Cシステムを活用したサービス提供
- ・ 資料データの作成と管理
- ・ 雑誌スポンサー制度による雑誌の充実
- ・ 学校支援図書整備

★多言語資料の充実

② 積極的な情報提供（広報）

素早く多様な媒体による情報提供を行い、情報の質と量の拡充をはかります。

- ・ ホームページの充実
- ・ 図書館外での広報推進

③ 図書館サービス網の充実

居住地による図書館の利用機会の不均衡を抑制するため、自動車文庫ともしび号の巡回によるサービス網の充実をはかります。

- ・自動車文庫ともしび号の巡回
- ・団体貸出

④ 障がい者等へのサービスの充実

障がい等による図書館の利用機会の不均衡を抑制するため、バリアフリー図書を積極的に収集し、障がい者サービスの充実をはかります。

また、社会福祉協議会や岩手県立視聴覚障がい者情報センターとの連携をはかります。

- ・自宅配送サービス
- ・大活字本（目の見えにくい方にも読みやすい大きな文字で書かれた本）の拡充
- ★LLブック（やさしい言葉や図を用いて分かりやすく書かれた本）の購入

⑤ 視聴覚ライブラリーの貸出

教育目的で使用する市民団体等の非営利団体を対象に、上映権付DVDなどの視聴覚教材や機材を無償で貸出して、団体の活動を支援します。

- ・機材・教材の貸出（プロジェクター・DVD等）
- ・機材・教材の購入と整備（上映権付DVDの購入）

4-2-3 頼りになる図書館

情報化が進んだ現代社会においても、情報アクセス格差が存在します。北上市立図書館は、市民の「知る自由」を保障するため、誰でも必要な情報を利用して問題を解決できるよう、専門職員を育成し、情報提供能力の向上を図ります。

市民が求める多様な情報の提供と利活用を支援し、「頼りになる図書館」を目指します。

また、図書館は、地域の歴史や文化などの地域資料を保存し、後世に引き継ぐ「地域の記憶装置」としての機能を担っています。

地域・行政資料を積極的に収集し、保存に努めるとともに、市民による主体的な地域づくりを支援し、資料を介して地域情報の発信につとめます。

◇ レファレンス（参考調査）機能の充実

① 職員のレファレンス技術向上

利用者の相談内容を正確に理解し、確かな資料や情報と市民とを結びつけ、必要な資料を的確に提供できるよう、職員の資質・能力の強化、特にもレファレンス技術の向上をはかります。

- ・ 職員の研修参加と情報の共有
- ・ 職員間でレファレンス事例の共有

② 情報提供能力の強化

どのような資料請求にも対応できるよう安全で機能的な図書館システムを構築し、レファレンスツールの充実や、専門機関等との連携体制を強化します。

- ・ 図書館システムの構築（令和8年度システム更新）

★地域資料のデータベース化

- ・ 利用者検索システムとソフトの充実
- ・ I Cシステムを活用した資料管理
- ・ ホームページによるパスファインダー^{*}の公開

※特定のテーマについて、参考となる資料や情報を探すための手段を簡単にまとめたもの

③ レファレンス機能の周知

レファレンス機能の存在を、広報やホームページ等を通じて市民、事業者、行政各課等に広く周知します。

- ・ ホームページでのレファレンス事例公開

④ 地域資料の活用促進

北上市出身者、北上市に関する資料、交流センター、NPOなどが発行する地域誌、地図など流通経路にのらない北上市独自の資料を積極的に収集し、保存を行います。

今後増え続ける地域資料の保存場所の不足と劣化への対策や、古文書調査を担う人材の育成や確保に向けた取り組みを検討します。

また、登録データの修正・追加を行い、利便性を向上させます。

-
- ・ 図書館収蔵資料展の開催
 - ・ 地域資料のデータの修正・追加
 - ・ 古文書の収集、整理、解読及び目録作成
 - ・ 絵図面の裏打ち、補修、保存
 - ・ 地域資料のデジタル化の検討
 - ・ 古文書研究会の継続的实施による担い手の確保

4-2-4 憩いの図書館

日常から離れ、快適に憩うことのできる空間での読書は、生活に安らぎを与え、人生を豊かにします。また、多様な学びとともに、人とのつながりにより生きがいを持つことは重要です。

市民が共に楽しく学び、本と人、人と人がつながる憩いの場として気軽に利用できる居心地のよい空間づくりと、図書館という枠にとらわれない多彩な事業の開催に努めます。

家庭でも職場・学校でもないサードプレイス（第3の居場所）としてそれぞれに憩うことのできる「憩いの図書館」を目指します。

◇ サードプレイス（第3の居場所）としての機能の充実

① 快適な読書空間の確保

施設・設備の老朽化が進んでいることから、維持管理を適切に実施するほか、施設・設備の改修や配置の見直し、利用規定の見直し等により快適な読書空間の確保に努めます。

-
- ・ 施設・設備の改修、更新
 - ・ 利用規定の見直し

② 本をテーマにしたコミュニティの醸成

読書に対する興味は個人によって大きく違い、幅広いものですが、本を介して得る共感は、読書の楽しみでもあります。

図書に関するイベント等に会場を提供したり、図書を紹介する機会を提供するなど、利用者同士が交流ができる環境を整え、本を介した交流の場を創出します。

-
- ・ わたしの推し本
 - ・ 会議室、視聴覚室のイベントへの貸出

③ 多彩な空間の提供

サードプレイス（第3の居場所）として、多様な市民がそれぞれに憩うことのできる多彩な空間を提供します。読書だけにとらわれない図書館の枠を超えた新たな空間の提供をおこないます。

- ・他団体等との連携によるイベントの開催
- ・視聴覚室、会議室を学習用スペースとして提供

5 進捗状況の点検・評価

運営方針に沿って事業を展開し、実績を点検・評価します。

5-1 方法

- ① 各年度の事業計画を策定します。
- ② 年度ごとに事業実績、進捗状況を自己評価します。
- ③ 評価結果を図書館協議会で検証し、次年度の事業計画に反映させます。
- ④ 最終年度に総合的な事業実績と数値目標の達成度を点検・評価し、次期方針に反映させます。

5-2 数値目標

事業の進捗を評価するための基準として、次のとおり数値目標を設定します。

指標		実績 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
1 個人登録率・登録者数	登録率	19.4%	20.4%
	登録者数	17,642人	17,800人
2 年間貸出点数・人口一人当り 貸出点数	貸出点数	416,115点	400,800点
	一人当り	4.58点/人	4.60点/人
3 入館者数		191,696人	194,600人
参考：「北上市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」 (令和7年改訂版) 令和12年(2030)推計人口		90,852人	87,136人

6 資料

6-1 利用者アンケート質問票

図書館に関するアンケート

2025年6月～7月 北上市立図書館

市民や日頃図書館を利用している方々を対象に、市立図書館についてアンケートを実施します。
北上市立図書館の基本的運営方針の参考としますので、皆様のご協力をお願いします。

最初に年齢・性別を教えてください。

年齢： 10代 / 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代以上 / 答えたくない

性別： 男性 / 女性 / 答えたくない

あてはまるものに○をつけてください。

問1. 図書館を利用していますか？

利用している ⇒問2へ / 利用していない ⇒アンケートは以上で終了となります。

問2. 利用している図書館はどこですか？（いくつでも）

中央図書館 / 江釣子図書館 / 和賀図書館 / 自動車文庫（ともしび号）

問3. 図書館を利用する目的を教えてください（1つのみ回答）

1、調べもののため	2、本を借りるため	3、本・雑誌・新聞を読むため	4、勉強や仕事をするため
5、CDやDVDを視聴するため	6、おはなし会などのイベントに参加するため	7、子どもなど家族の付き添い	8、静かな時間を過ごすため

問4. 図書館で行っている次のサービスや各種行事等についてご存じですか？（○をつけてください。）

1、窓口での貸出中の本の順番待ち予約サービス	知っている	知らない
2、窓口での本の購入リクエスト	知っている	知らない
3、インターネットによる資料検索・貸出中の本の順番待ち予約サービス	知っている	知らない
4、相互貸借サービス（市外の図書館から取り寄せ）	知っている	知らない
5、館内無料 Wi-Fi 及びインターネット端末設置（中央図書館のみ）	知っている	知らない
6、ユニバーサルサービス（大活字本の貸し出し・拡大器・点字付絵本）	知っている	知らない
7、レファレンスサービス（調べものの相談）	知っている	知らない
8、0歳～小学校低学年を対象としたおはなし会	知っている	知らない
9、ブックスタート（4か月健診時に赤ちゃん絵本とトートバックをプレゼント）	知っている	知らない
10、ブックボランティア（本の修理、本棚の本を整頓するボランティア）	知っている	知らない

問5. インターネット予約を利用していますか？

利用している ⇒問7へ / 利用していない ⇒問6へ

問6. インターネットによる本の順番待ち予約サービスを利用しない理由を教えてください。

1、インターネットで予約できることを知らなかった	2、図書館の検索システムが分かりにくい	3、インターネット端末を所有していない
4、対面で予約するより手間がかかる	5、予約してまで読みたい本がない	

問7. ブックスタートがきっかけで図書館を利用するようになりましたか？

はい / いいえ

問8. 図書館を利用して、次のどのようなことを感じますか？（○をつけてください。）

1、面白い本が見つかった	よく感じる	ときどき感じる	たまに感じる	感じない
2、探していた情報や知識が得られた	よく感じる	ときどき感じる	たまに感じる	感じない
3、仕事や資格取得の役に立った	よく感じる	ときどき感じる	たまに感じる	感じない
4、本の探し方や知識・情報の調べ方がわかった	よく感じる	ときどき感じる	たまに感じる	感じない
5、落ち着いて読書や調べものをする事ができた	よく感じる	ときどき感じる	たまに感じる	感じない

問9. 図書館の満足度について（○をつけてください。）

1 図書館の施設・設備について	満足	やや満足	やや不満	不満
2 図書全般の充実について	満足	やや満足	やや不満	不満
3 こどもの本の充実について	満足	やや満足	やや不満	不満
4 地域資料（北上地域の自然、歴史文化などの資料）の充実について	満足	やや満足	やや不満	不満
5 図書館でのイベントについて（おはなし会、テーマ展示）	満足	やや満足	やや不満	不満
6 図書館システムの使いやすさについて	満足	やや満足	やや不満	不満
7 職員の対応について	満足	やや満足	やや不満	不満

お問い合わせ先

北上市立中央図書館

〒024-0093 北上市本石町二丁目5番35号

TEL : 0197-63-3359

FAX : 0197-64-5545

E-mail : tosho@city.kitakami.iwate.jp